

評価委員からの主な意見

意見聴取 令和5年度第3回大分県地方独立行政法人評価委員会

日時：令和6年2月8日（木）13：00～15：00

場所：大分県庁舎新館5階 51会議室

○ 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学第4期中期計画（案）

- ・感性と知性を融合させ新たな視点で地域社会の未来を拓く、このキャッチフレーズのもと、地域課題に対して大学に関わる方々がどのようにして力をつけていくのか、という点についても具体的な取り組みとしてやっていただきたい。
- ・科研費等、外部資金の獲得にぜひチャレンジしていただきたい。
- ・入学者を確保していくにあたり、アドミッションポリシーに見合った学生を確保するための工夫や取組を進めて貰いたい。
- ・アフターコロナの新たな課題ということで、施設の一般利用の拡大を掲げられている。ぜひ大分県民に対して、参加や利用について積極的に広報をお願いしたい。
- ・外部資金の獲得手段として寄付金を募るのは非常に大事で、いろいろなことができると思う。その中でクラウドファンディング等、その他の手法も検討してみてもどうか。
- ・ブランドアイデンティティを今回の計画から定めたことは非常に大きな一歩。
- ・評価指標の設定によって、今までやや曖昧となっていた目標がより具体的になった点は良い。中身や質の伴った指標となるよう、順次見直していくこともやぶさかではないと考える。

○ 公立大学法人大分県立看護科学大学第4期中期計画（案）

- ・アドミッションポリシーに見合わない受験生が入学し、退学してしまう事例が全国的に増える中、様々な工夫をもって入学許可を行っている。
- ・財務内容の改善において、経費の効率化として水道光熱料（使用量）の前期比減を掲げているが、それに限らず、事務のDX化で紙資源を節約するなど、様々な分野で取り組みを進めて欲しい。
- ・NPの合格率100%については引き続き達成していただきたい。
- ・看護科学大学は大分県の健康寿命日本一を下支えしていることを第四期中期計画の中で伺い知ることができた。
- ・評価指標が具体的であり、また定量化され、中には非常に高い目標を掲げている。この目標に向かって、引き続き努力していただきたい。